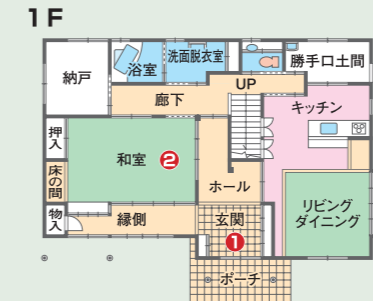




「せがい造り」の格式ある外観。ポーチ柱と桁丸太には吉野スギの磨き丸太を使用。7寸角のヒノキの通し柱が支える玄関ホールは、框と式台に希少なラオスマツを用いるなど、全国有数の良材をふんだんに配した和の住まい。



- 施工：田村建設
- 設計：田村一級建築士事務所
- 建築面積：127.94㎡ (38.70坪)
- 延床面積：181.76㎡ (54.97坪)
- 工法：木造軸組工法

## 無垢材の良さを引き出し伝統工法にこだわる和風住宅



代表取締役 一級建築士  
田村 知幸

1976年の創業以来、木の風合いを最大限に生かした和風住宅をつくり続ける田村建設。長年、地域に密着した小回りの効く家づくりで、数多くの経験と実績を培ってきた。地域の信頼は厚く、口コミや紹介による受注がほとんどだという。

青森ヒバ、秋田スギ、木曽ヒノキなど、日本有数の産地から仕入れた良質な天然木は、田村幸一会長が全国を訪ね、自ら吟味したもの。これらの良材を自社倉庫で眠らせ、じっくりと自然乾燥させた後、自社工場で大工職人が墨付け、手刻み、手ガンナなど昔ながらの技法にこだわり、機械に頼らない丁寧な加工を手間を惜しまずに行っている。

木の特性を熟知した同社は、伝統的なマツ丸太を梁に使用するなど、適材適所に木材を配し、「木」本来の強度を

生かした家づくりを基本とする。化粧垂木のある家を得意とし、純和風の平屋住宅も数多く手掛けている。自社大工による匠の技で丹念につくり上げる木組みの家には、工芸品のような優雅な品格が備わっている。もちろん、和モダン住宅や洋風住宅にも太い無垢材や自然素材を駆使するなど、その技術を惜しみなく注ぎ、見事に融合させている。

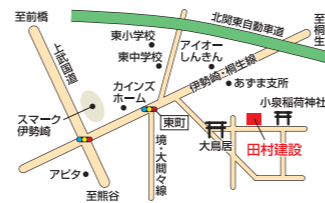
写真の家は、存在感のある寄棟屋根と深い軒先が特徴の「せがい造り」の純和風住宅。神社仏閣に用いられる重厚で格式のある伝統工芸で、風雨や日差しを遮る効果がある。無垢材をふんだんに用いた室内は、玄関ホールの格天井や2階まで続く7寸角の通し柱、一本の木材から取った手ガンナ仕上げによる和室に配した天井板など、どこを取っても熟練された職人技が遺憾なく発揮されている。

磨き上げられた腕を持つ大工を社員として育て上げ、設計から材料の手配、加工、現場管理、アフターメンテナンスまで一貫して行えるのが同社の強み。会長のご子息で二代目の田村智幸社長は設計・管理に携わる。さらに次男と三男も大工の棟梁として現場で家づくりを任せられ、専務、常務としても脇を固めている。「無垢の木の心地よさを感じてもらいたい」話す田村智幸社長は、採光と風の通りを考えた設備に頼らない設計を心掛け、三兄弟が各方面から住まい手が満足できる家づくりに誠実な姿勢で取り組んでいる。



### 当社の得意分野

- 純和風
- デザイン
- 自然素材
- 職人技
- リフォーム
- 化粧垂木



## 株式会社 田村建設

建設業許可群馬県知事(般-21)第12049号 一級建築士事務所 群馬県知事登録1520号  
伊勢崎市小泉町450-4 TEL.0270-63-3333 FAX.0270-63-2288  
URL <http://tamura-kensetsu.com/> E-mail [info@tamura-kensetsu.com](mailto:info@tamura-kensetsu.com)